

# 広島県経済の動向

令和2年1月8日

商工労働局

# 目 次

|     |                 |   |
|-----|-----------------|---|
| I   | 経済動向の概要         | 1 |
|     | 1 国内経済の動向       |   |
|     | 2 広島県経済の動向      |   |
| II  | 県内主要製造業の生産動向    | 3 |
|     | 1 鉄鋼            |   |
|     | 2 自動車           |   |
|     | 3 造船            |   |
|     | 4 一般機械          |   |
|     | 5 電気機械          |   |
| III | 中小企業の動向         | 5 |
|     | 1 概況            |   |
| IV  | 企業倒産状況          | 7 |
|     | 1 概況            |   |
|     | 2 業種別           |   |
|     | 3 原因別           |   |
|     | 4 今後の見通し        |   |
| V   | 最近の雇用失業情勢       | 8 |
|     | 1 県内の有効求人・求職の動向 |   |
|     | 2 県内の新規求人・求職の動向 |   |
|     | 3 県内の人員整理の状況    |   |
|     | 4 完全失業率の状況      |   |

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

| 指 標     | R 元年                               |                           |   |
|---------|------------------------------------|---------------------------|---|
|         | 10月                                | 11月                       | 12月   |
| 基調判断    | 景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。 |                           | 景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。 |
| 輸 出     | 弱含んでいる。                            |                           |   |
| 生 産     | このところ弱含んでいる。                       |                           | 一段と弱含んでいる。  |
| 設 備 投 資 | 機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。         |                           |   |
| 雇 用 情 勢 | 着実に改善している。                         | 改善している。                   |   |
| 個 人 消 費 | 持ち直している。                           |                           |   |
| 住 宅 建 設 | このところ弱含んでいる。                       | 弱含んでいる。                   |   |
| 企 業 収 益 | 高い水準で底堅く推移している。                    | 高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。 |   |

### (2) 先行き

先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和元年12月20日公表）】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

| 指 標     | R 元年                           |                                 |     |
|---------|--------------------------------|---------------------------------|-----|
|         | 10月                            | 11月                             | 12月 |
| 基調判断    | 一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに拡大している。   | 幾分ペースを鈍化させつつも、基調としては緩やかに拡大している。 |     |
| 輸 出     | 横ばい圏内で推移しているが、一部に弱めの動きがみられている。 |                                 |     |
| 生 産     | 横ばい圏内で推移しているが、一部に弱めの動きがみられている。 | 弱めの動きとなっている。                    |     |
| 設 備 投 資 | 緩やかに増加している。                    |                                 |     |
| 雇 用 情 勢 | 着実な改善を続けている。                   |                                 |     |
| 個 人 消 費 | 持ち直している。                       | 消費税率引き上げによる振れを伴いながらも、持ち直している。   |     |
| 住 宅 投 資 | 横ばい圏内で推移している。                  |                                 |     |

### (2) 県内の経済の状況

需要項目別に概観すると、公共投資は復旧・復興需要がみられる中で、増加している。設備投資は緩やかに増加している。個人消費は消費税率引き上げによる振れを伴いながらも、持ち直している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。輸出は横ばい圏内で推移しているが、一部に弱めの動きがみられている。

生産は弱めの動きとなっている。雇用・所得環境は着実な改善を続けている。消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台後半となっている。

先行きの景気は、緩やかな拡大基調を続けるものとみられる。なお、公共投資を中心とした復旧・復興需要による景気全体の押し上げが継続するとみられる一方、消費税率の引き上げの影響や米国の保護主義的な通商政策、中国を始めとする新興国・資源国経済の動向は、下振れリスクとして注視する必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（注）令和2年1月8日公表】

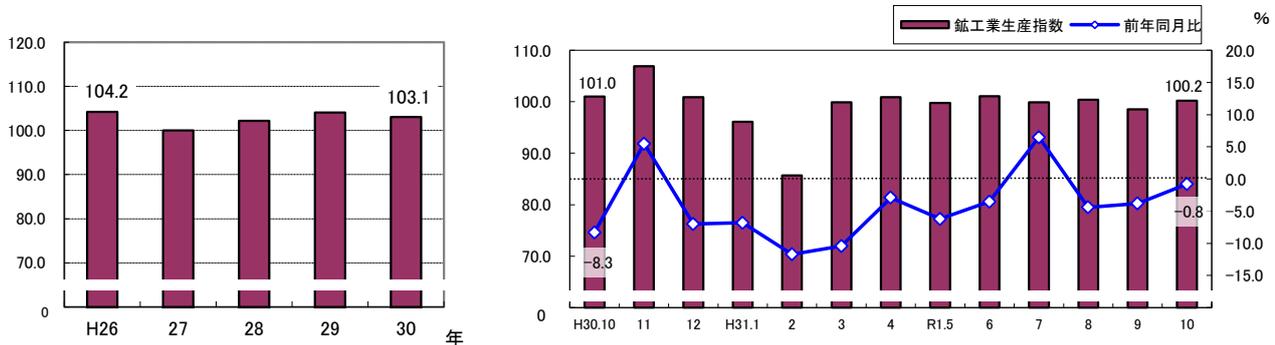
## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼（令和元年10月）

10月の鉱工業生産指数（鉄鋼業，原指数，速報値，平成27年＝100）は100.2で，前年同月比で0.8%低下となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



#### ○最近の景況

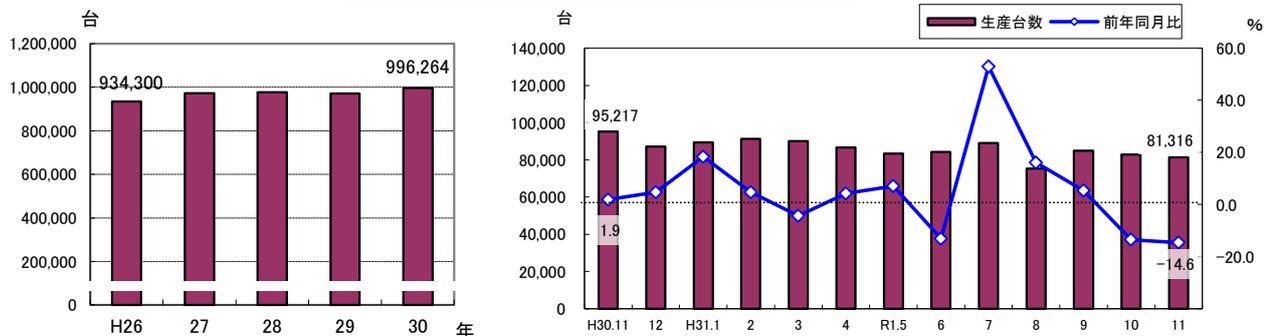
弱めの動きとなっている。

### 2 自動車（令和元年11月）

11月の国内生産台数は81,316台で，前年同月比で14.6%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比)

【マツダ(株)】



#### ○最近の景況

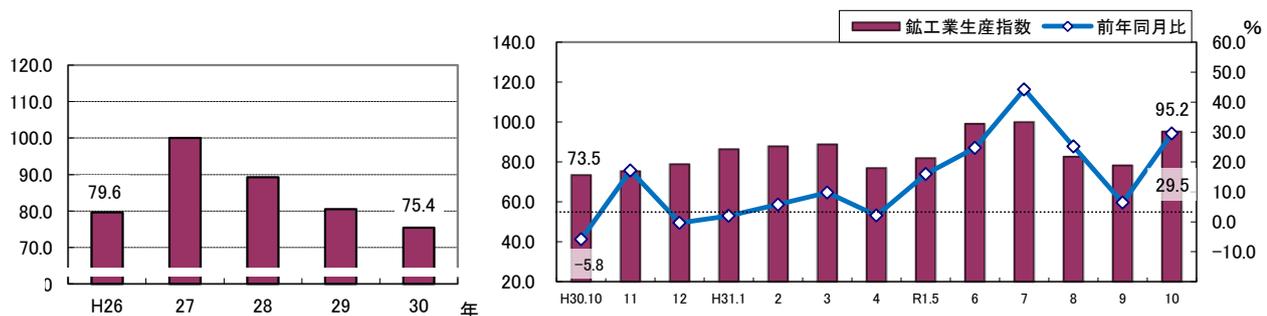
弱めの動きとなっている。

### 3 造船（令和元年10月）

10月の鉱工業生産指数（造船部門，原指数，速報値，平成27年＝100）は95.2で，前年同月比で29.5%上昇となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



#### ○最近の景況

高操業となっている。

#### 4 一般機械（令和元年10月）

10月の鉱工業生産指数（一般機械工業，原指数，速報値，平成27年＝100）は87.7で，前年同月比で25.6%低下となっている。

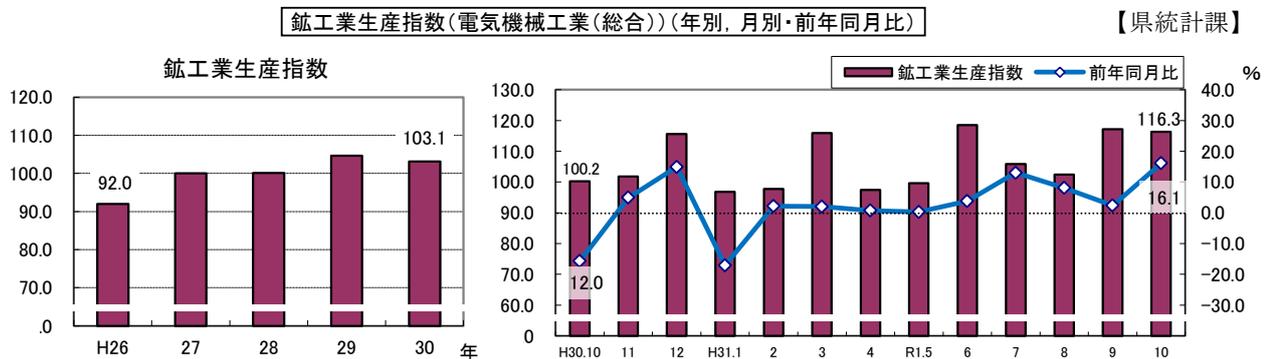


#### ○最近の景況

弱めの動きとなっている。

#### 5 電気機械（令和元年10月）

10月の鉱工業生産指数（電気機械工業（総合），原指数，速報値，平成27年＝100）は116.3で，前年同月比で16.1%上昇となっている。



#### ○最近の景況

緩やかに増加している。

※ 「最近の景況」は，令和2年1月8日公表の日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」より転記。

### Ⅲ 中小企業の動向（令和元年11月）

【広島県中小企業団体中央会】

#### 1 概況

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比12.7%減少と2ヶ月連続の前年割れ、マツダ車の国内販売台数も28.2%減少と2ヶ月連続の前年割れとなったものの、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比3.2%増加と14ヶ月ぶりの前年超えとなった。

木材業界では、全国住宅着工数は前年同月比7.4%減少と4ヶ月連続の前年割れとなったが、広島県内の住宅着工数は前年比34.7%増加と4ヶ月ぶりの前年超えとなった。

人手不足や人件費の上昇、配送料の値上げ等による収益悪化の声が様々な業界から聞かれる。

米中貿易摩擦による輸出停滞や消費税引き上げに伴う影響で、景気が悪化している業種もあり、今後の景気動向についても注視していく必要がある。

| 景況<br>天気<br>気<br>図 | 業種       | 10月の<br>景況感 | 11月の<br>景況感 | 業種     | 10月の<br>景況感 | 11月の<br>景況感 |
|--------------------|----------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|
|                    | 食料品      |             |             | 一般機械器具 |             |             |
|                    | 繊維・衣服    |             |             | 電気機械器具 |             |             |
|                    | 木材       |             |             | 自動車部品  |             |             |
|                    | 家具       |             |             | 造船     |             |             |
|                    | 印刷       |             |             | 建設     |             |             |
|                    | 化学       |             |             | トラック輸送 |             |             |
|                    | プラスチック製品 |             |             | 内航海運   |             |             |
|                    | 土石製品     |             |             | 卸売     |             |             |
|                    | 鉄鋼(鋳物)   |             |             | 小売     |             |             |
|                    | 金属製品     |             |             | 情報サービス |             |             |

好況   
 やや好況   
 普通   
 やや悪い   
 悪い

#### (1) 景況感の変化

| 景況感  | 業種数 |     |     |
|------|-----|-----|-----|
|      | 10月 | 11月 | 増減  |
| 好況   | 0   | 0   | 0   |
| やや好況 | 1   | 1   | 0   |
| 普通   | 5   | 4   | ▲ 1 |
| やや悪い | 12  | 12  | 0   |
| 悪い   | 2   | 3   | 1   |

(2) 前月（10月）から変化のあった主な業種

| 業種  | 10月の景況感 | 11月の景況感 | 変化の理由・状況   |
|-----|---------|---------|--|
| 食料品 | やや悪い    | 悪い↓     | <p>地方配送のある企業は運賃負担の多さに疲弊しており、かなり利益を圧迫されている。<br/>【広島県東部菓子商工業協同組合】</p> <p>11月の出荷量は前月比0.4%減少、売上高は前月比4.0%減少となった。<br/>【中国醤油醸造協同組合】</p> |
| 造船  | 普通      | やや悪い↓   | <p>中小造船業については、前月と大きな変化はない。<br/>【中国小型船舶工業会】</p> <p>景況感悪化の声が聞こえており、先行きの見通しが立たない。<br/>【呉鉄工業団地協同組合】</p>                              |

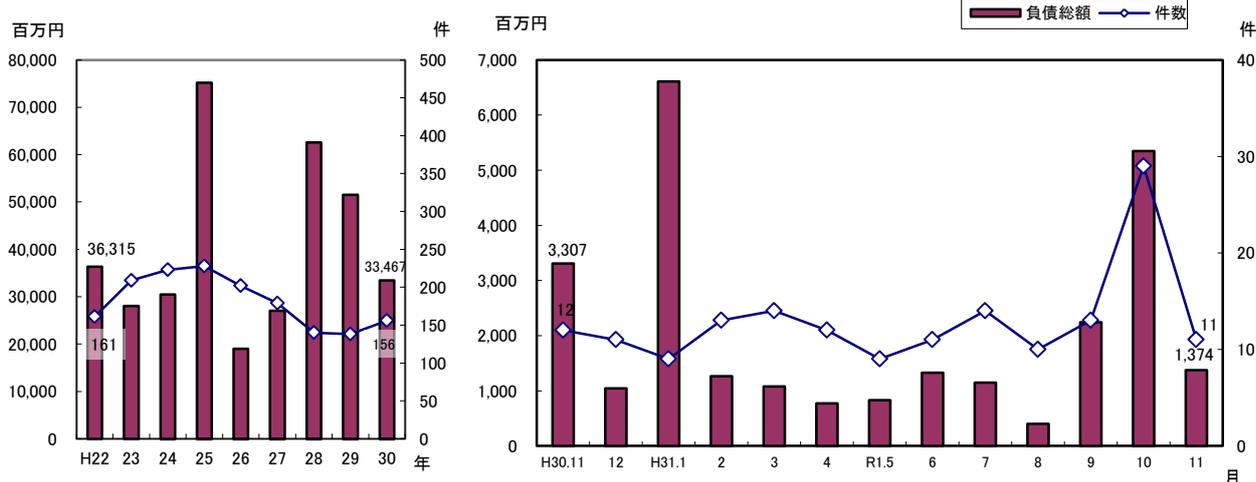
## IV 企業倒産状況（令和元年11月）

### 1 概況

11月の県内企業の倒産状況（負債総額1,000万円以上）は、件数が11件、負債総額が13億7,400万円で、前月と比較すると件数は18件減少し、負債総額は39億7,600万円減少した。前年同月と比較すると、件数は1件減少し、負債総額は19億3,300万円減少した。大型倒産（負債総額10億円以上）は無かった。

| 区 分             | 令和元年9月                | 令和元年10月               | 令和元年11月               |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 件 数<br>(前年同月比)  | 13件<br>(+ 1件)         | 29件<br>(+ 7件)         | 11件<br>(▲ 1件)         |
| 負債総額<br>(前年同月比) | 2,241百万円<br>(+ 33.6%) | 5,350百万円<br>(+ 85.6%) | 1,374百万円<br>(▲ 58.5%) |

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



### 2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が7件、建設業が2件、製造業、サービス業が各1件となった。負債総額では、サービス業、建設業、卸・小売・飲食業、製造業の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が8件、放漫経営、シワ寄せ、その他が各1件であった。

### 4 今後の見通し

令和元年11月度の県内倒産件数は前年同月比7ヵ月ぶりの減少、負債総額では10億円以上の大型倒産の発生はなく前年同月比3ヵ月ぶりの減少となった。従業員数別では5人未満が大半を占めており、負債総額別では1億円未満が7件と依然として中小零細企業の小規模な倒産が主体であった。

広島労働局が発表した広島県令和元年11月の有効求人倍率は1.95倍で、全国3位と引き続き高い水準で推移している。このような中で働き方改革への取組みも進めていく必要があるが、中小零細規模の企業にとっては人員増や効率向上は容易ではないため、厳しい状況にある事がうかがえる。

また、受注は堅調であるとされる産業においても計画どおりに進まない案件があると聞かれ、経費負担増に繋がり資金需要も増していると推察される。これまでは金融機関の柔軟な対応によって倒産件数は抑制された面があるが、昨今、不良債権処理費用に対する負担が増加しており、破綻懸念先が増えていることがうかがえる。今後、資金需要が活発になる年末を迎えるが、借入依存率の高い先で支援が得られない企業や、財務体質の弱い企業の息切れが予想されるなど、倒産件数を押し上げる要因が散見されるようになってきており動向には留意を要する。

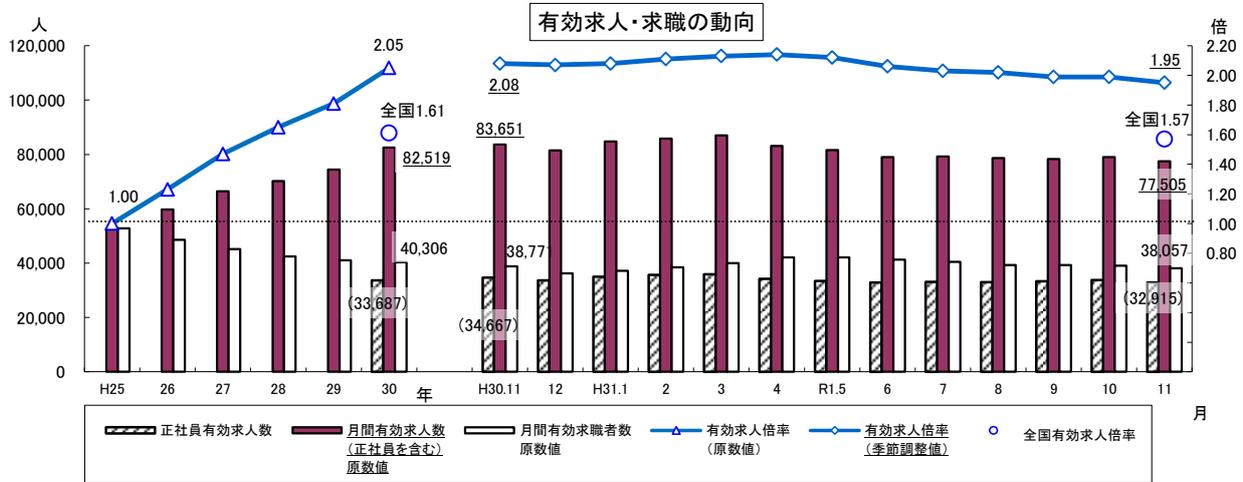
【(株)東京商工リサーチ】

# V 最近の雇用失業情勢（令和元年11月）

## 1 県内の有効求人・求職の動向

| 区 分                    | 令和元年9月                | 令和元年10月               | 令和元年11月               |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 有効求人倍率〈季節調整値〉<br>(前月比) | 1.99倍<br>(▲ 0.03ポイント) | 1.99倍<br>(±0.00ポイント)  | 1.95倍<br>(▲ 0.04ポイント) |
| 正社員有効求人倍率<br>(前年同月比)   | 1.40倍<br>(▲ 0.03ポイント) | 1.43倍<br>(▲ 0.02ポイント) | 1.44倍<br>(▲ 0.03ポイント) |

【広島労働局】

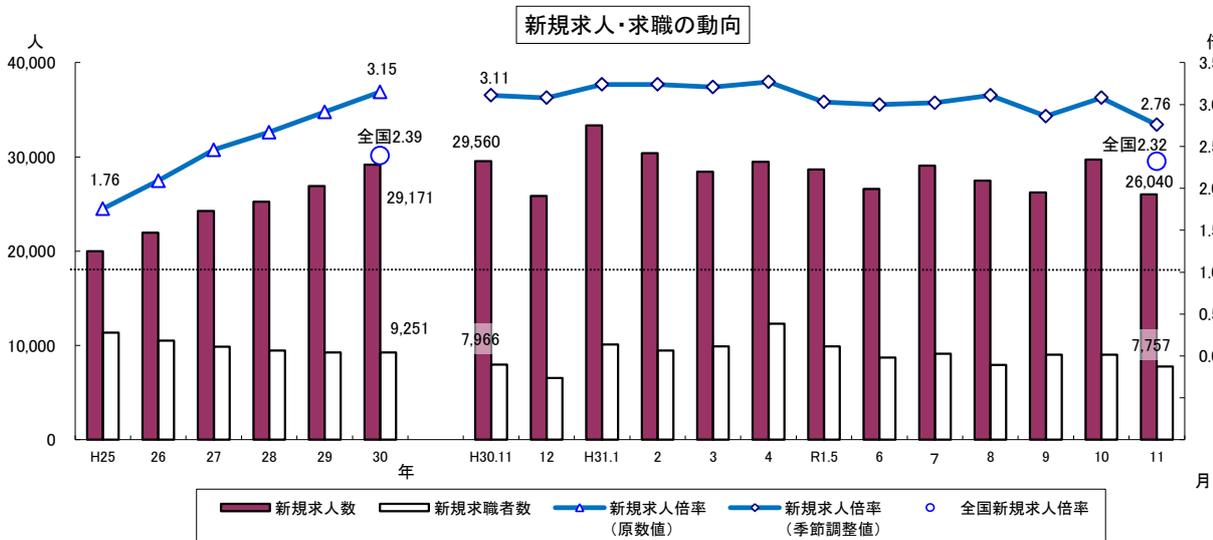


- (注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
- (注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。
- (注3) 平成30年12月以前の季節調整値は改訂されている。（平成31年1月分公表時改訂）

## 2 県内の新規求人・求職の動向

| 区 分                    | 令和元年9月               | 令和元年10月              | 令和元年11月              |
|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 新規求人倍率〈季節調整値〉<br>(前月比) | 2.86倍<br>(▲0.25ポイント) | 3.08倍<br>(+0.22ポイント) | 2.76倍<br>(▲0.32ポイント) |

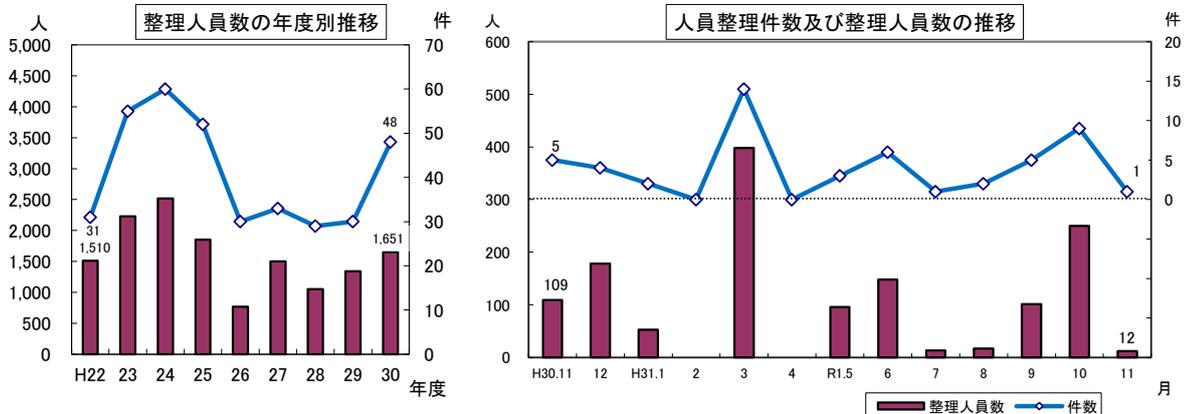
【広島労働局】



### 3 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

| 区 分             | 令和元年9月           | 令和元年10月          | 令和元年11月        |
|-----------------|------------------|------------------|----------------|
| 件数<br>(前年同月比)   | 5件<br>(±0件)      | 9件<br>(+ 6件)     | 1件<br>(▲ 4件)   |
| 整理人員<br>(前年同月比) | 101人<br>(▲ 328人) | 250人<br>(+ 124人) | 12人<br>(▲ 97人) |

【広島労働局】

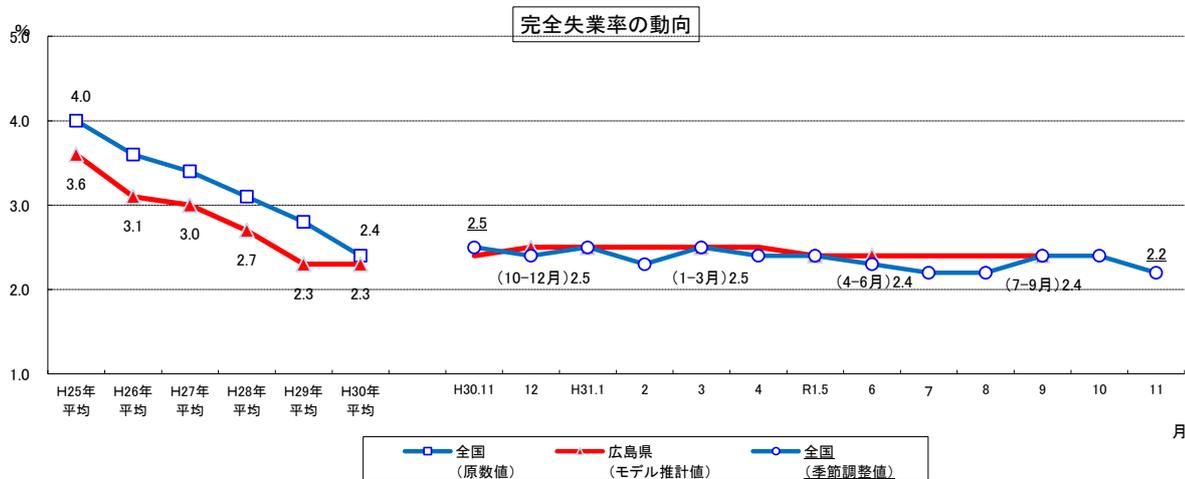


### 4 完全失業率の状況

| 区 分                      | 令和元年9月           | 令和元年10月          | 令和元年11月           |
|--------------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 全国完全失業者数<br>(前年同月比)      | 168万人<br>(+ 6万人) | 164万人<br>(+ 1万人) | 151万人<br>(▲ 17万人) |
| 全国完全失業率 (季節調整値)<br>(前月比) | 2.4%<br>(+ 0.2%) | 2.4%<br>(±0.0%)  | 2.2%<br>(▲ 0.2%)  |

| 区 分                           | 平成31年・令和元年      |                  |                 |
|-------------------------------|-----------------|------------------|-----------------|
|                               | 1～3月期平均         | 4～6月期平均          | 7～9月期平均         |
| 広島県完全失業率<br>(モデル推計値)<br>(前期比) | 2.5%<br>(±0.0%) | 2.4%<br>(▲ 0.1%) | 2.4%<br>(±0.0%) |

【総務省統計局】



※ 広島県（モデル推計値）は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。